

開催協議会名	令和6年 第1回 川本警察署協議会		
開催日時	令和6年2月6日(火) 14時00分から15時45分まで		
出席者	協議会委員	3人(森川副会長、難波委員、波多野委員)	
	警察署	8人(役職名:署長、副署長、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長、生活安全係長、地域係長、総務係長)	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	令和6年川本警察署運営指針及び活動重点
		説明概要	令和5年の川本警察署管内の治安情勢を説明するとともに、令和6年川本警察署運営指針及び活動重点(別紙)に沿った川本警察署の取組について各部門毎に説明した。
		答申(意見等)	運営指針及び活動重点に対する意見はなかった。
	委員からの 意見・提言	<p>① 高齢歩行者の着衣に対する指導について</p> <p>高齢者の関与する交通事故に関して、これから春夏にかけて夕方のウォーキングが増える。横断中も含めてこのような歩行中の事故は多いか。</p> <p>ウォーキングする者の多くが、未だ黒っぽい服装であるように感じる。反射タスキの普及は進んでいるが、更に地域での集まりなどで、目立つ服装の着用の指導を推進してほしい。</p> <p>(警察署回答)</p> <p>昨年中の高齢者が関与する歩行中の事故状況については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼間の歩行中の死傷者が36人でうち横断中が24人、この36人中、死者は4人でいずれも横断中 ・ 夜間の歩行中の死傷者が16人でうち横断中が15人、この16人中、死者は4人でいずれも横断中であった。 <p>また、昨年中の交通死亡事故の死者22人中、高齢者は14人で、このうち横断歩行中が8人であった。この8人のうち夜間に事故に遭われた方は4人であった。</p> <p>なお、歩行中の事故の被害者がウォーキング中であつ</p>	

たか等の具体的な行動や当時の着衣の色に関する統計はなし。

夜間歩行中の交通事故を防止するには反射材の着用が効果的であり、川本警察署では反射材の着用推進方策として

- ・ 交通教室等で車両の照射距離、着衣の色別の視認距離及び反射材の効果をパワーポイントを使用して説明する広報啓発
- ・ 着用気運を醸成するため邑智病院、石見中学校等を「キラリ推進隊」に委嘱
- ・ おおなんケーブルテレビの協力を得て、反射材の効果を発信する番組の作成・放映等を実施している。

今後も継続的に対策を推進する。

② 迷惑メールの対処方法について

パソコンに身に覚えのないメールが頻繁に来る。身に覚えがないことから、メールを開かずに削除や拒否しても送られてくるので、アドレスを変える以外の何か対処方法はないか。

(警察署回答)

使用しているパソコンやメールソフトによって対策が異なるが、基本的には無視をしてほしい。

一般的な対策として、

- ・ プロバイダの迷惑メール対策サービス
- ・ セキュリティソフトの迷惑メール対策機能
- ・ メールソフト内の迷惑メールブロック機能等を活用する方法がある。

③ 変則交差点の方向指示器の出し方について

川本郵便局前の変則的な交差点での方向指示器の出し方について、教えてほしい。

(警察署回答)

川本大橋から川本郵便局前の道路を主道路として、この道路に接する道路は、主道路に対面して、右・左を判断して右折、左折の方向指示器を出して進行する。



○ 副会長あいさつ



○ 警察署長あいさつ



○ 諮問事項説明



○ 質疑・応答状況



○ 質疑・応答状況